

English Immersion Camp 2003

R e p o r t



*HOIYA!は、
キャンプでみんなが使った
"元気の出るかけ声"です。

Communicating in English

—世界を感じた10日間—	2
子どもたちが教えてくれた平和へのヒント	
—校長からのメッセージ—	5
英語が子どもたちを変えた!	6
保護者の方から	10
公文式教室の指導者から	11
キャンプリーダー、熱いハートを語る	
— Impressions of the Camp Leaders —	12
小学校の先生は、キャンプに何を感じたか?	15
見学者からのメッセージ	15
キャンプの成功要因と分析	16
イマージョンキャンプ概要	18
Camp Leaders	21
Participants	22

KUMON

English Immersion Camp 事務局

"Welcome to the English Immersion Camp!"



ようこそ!



自己紹介ゲーム、ドキドキ

Hello! What's your name?

"Wow! Beautiful!"



パソコンを使ってリーダーの国を調べよう



"Cheese!"

世界の国めぐり。フィリピンルームで

Communicating in English



グループ旗を囲んで、ハイ、ポーズ

"Shall we dance?"



Don't burn "the Chijimi!"



バンブーダンスに挑戦



Yummy! Yummy!

今夜はバーベキュー



日記の発表



Always together

No, Japanese!

スノーピーバスで遠足へ



"Let's have fun"

アートクラブでお互いの顔をペインティング



世界を感じた10日間



スポーツフェスティバル

Go Go, C'mon C'mon!

"Makin' music"



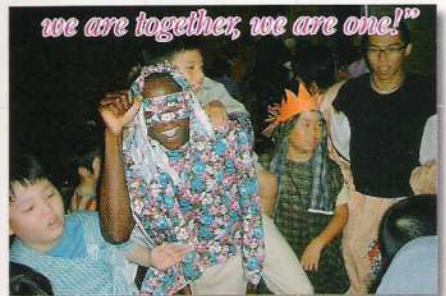
楽器を作ったよ



ほくたちのプレゼンテーションは「ライオンキング」だ!

"Kumon Kumon

we are together, we are one!"



楽しいキャンプファイヤー



アートクラブで仮面を作ったよ。せーの、「Gets!」



休み時間もいっしょ



Message from the President of Kumon Japan

Hi everybody,
 My name is Hiroshi Otake, I'm very happy to see you.
 To enjoy this camp, I'd like to send you just one message.
 Don't be shy! Just try! Everybody, I'm sure that there are many English words in your minds, because you are studying English everyday. Just let them go out from your lips, then you will enjoy this camp. Do not be afraid of making mistakes when you speak English. These mistakes will improve your English. Don't be shy, just try and make many friends while enjoying English.
 Thank you very much !!

Hiroshi Otake



日本文教教育研究会 社長 大竹 洋司

Communicating in English 世界を感じた10日間



さよならパーティーで、リーダーたちからのパフォーマンス



卒業式



子どもたちが教えてくれた 平和へのヒント

イングリッシュ・イマージョンキャンプ校長
鳥居健介



「I like English Immersion Camp. I don't want to go home. Thank you camp leaders.……」

卒業式の日、子どもたちは涙でくしゃくしゃになりながら、10日間惜しみない愛情を注いしてくれたキャンプリーダーたちに、精一杯、感謝の気持ちを伝えることができました。そして、しっかりと抱き合う56名の日本の子どもたちと18か国28名のキャンプリーダーたちの姿は、「国や言葉、文化や考え方が異なっても、お互いのちがいを認め合い、わかり合うことができる。英語という、たった一つの言葉で、心を通わせることができる。We are one! そして私たち一人ひとりの努力によって、きっと今よりも平和な世界を築くことができるよ」と、教えてくれているようでした。

「21世紀を担う子どもたちに、世界の人たちとしっかりコミュニケーションできる英語の力をつけてほしい。そして地球社会、世界の平和に貢献できる人材に育ててほしい」という共通の夢・志を持つ人たちによって、2001年夏にスタートしたイングリッシュ・イマージョンキャンプも、今年で3年目を迎えました。

イマージョンとは、「どっぷり浸る」という意味です。子どもたちは、世界中から集まった留学生キャンプリーダーたちと10日間、世界の共通語である英語で生活しました。子どもたちにとっては、大人が想像する以上に大変な挑戦だったことでしょう。親元から離れて、見知らぬ国の人たちと初めての共同生活、しかも言葉の自由がきかないという状況の中……。最初は、緊張と不安でいっぱいだった子どもたち。

校長からのメッセージ

しかし、キャンプリーダーたちの「愛」に包まれ、「自分を丸ごと受け入れてくれる」という安心感の中で、驚くほど積極的に英語でのコミュニケーションを楽しむことができました。英語だけでなく、失敗を恐れずに挑戦する力、やればできるという自信や自己肯定感を、さらに大きくふくらませることができたのです。

そして大人たちは、一人ひとりの子どもに心からの愛情を注ぎ、自信を与え、意欲を引き出すことに努める、周囲の人たちの存在がいかに大切であるかを痛感しました。また、何の分け隔てもなく、すべてを受け入れる子どもたちの、素直で柔軟な姿の中に、平和へのヒントを見つけたような気がしました。

現在日本では、日常的に英語を使う機会は多くありません。そのためか「英語は難しい。特別な人が使う言葉」という意識があるようです。しかし、今や英語を公用語とする国の数は60を超え、世界の4分の1から3分の1の人が日常的に英語を使っている、と言われていきます。もはや英語は、それを母国語として使う人々だけの言語ではなく、母国語のちがうもの同士がコミュニケーションをとるための大切な道具なのです。キャンプを通して、56名の子どもたちが、はっきりと教えてくれました。「英語は、世界の人とわかり合うために、だれもが使えるステキな言葉。そして、伝えたい気持ちと、わかり合いたい気持ち、愛こそがコミュニケーションの始まりなのだ」と。

一人でも多くの子どもたち、そして大人たちにもこのことをお伝えし、感じていただきたいと思っています。Don't be afraid of making mistakes! Let's try communicating in English! みんなの明るい未来を築くために。

最後になりましたが、子どもたち、キャンプリーダー、スタッフ関係者のみなさん、このキャンプを支えてくださったすべての皆さんに、心から感謝申し上げます。

